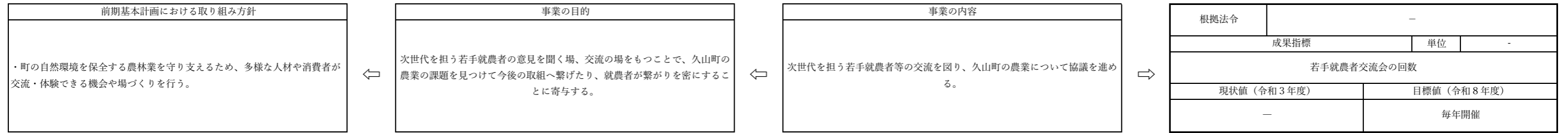


第4次久山町総合計画 前期基本計画対応 実施計画					分野			産業		政策	農業の恵み、森林の豊かさを守る			施策	③特色ある農業の実現		
実施年度	令和	4	年度	予算科目	会計			新規	事業名	次世代就農者育成事業			担当課		産業振興課		
					1	6	1						3	担当者		笠井 駿	

1. 事業概要



2. 実施内容（実績）

年度	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度			
Plan (計画)	若手農業者の意見を聞く場を設ける			若手農業者の意見を聞く場を設ける												
Do (実行)	農業経営コンサルと委託契約を締結し、若手農家のヒアリング・意見交流会を実施した。															
活動実績	ヒアリング	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値
		回	1	1												
交流会	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	
	回	2	2													
成果指標	若手就農者交流会の回数			若手就農者交流会の回数			若手就農者交流会の回数			若手就農者交流会の回数			若手就農者交流会の回数			
	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	単位	目標値	実績値	
	-	毎年開催	2回開催	-	毎年開催		-	毎年開催		-	毎年開催		-	毎年開催		
Check (評価)	B	若手農業者へのヒアリングや交流会を通じ、ニーズや課題点を探ることができたことに加え、農家同士のコミュニティ形成も図ることができた。														
Action (改善)	本町の田園風景の維持に向けた就農者育成の取り組みであり、重要な事業である。今後も、農業者・行政とがそれぞれの立場で農家振興に向け、できることを模索しながら継続していく必要がある。															
事業費	予算		決算		予算		決算		予算		決算		予算		決算	
直接事業費（歳出）	500	(千円)	495	(千円)	500	(千円)		(千円)	0	(千円)	0	(千円)	0	(千円)	0	(千円)
事業費財源	500		495		500		0		0		0		0		0	
特定	0		0		0											
地方債	0		0		0											
一般	500		495		500											
人件費	473.88		403.32		447.24		0		0		0		0		0	
人員数	0.06		0.06		0.06											
人件費単価	7.898		6.722		7.454		7.768		7.768		7.768		7.768		7.768	
事業費合計	500		495		500		0		0		0		0		0	
町民一人あたりの負担額	54.089	円	97.179	円	101.723	円	0.000	円	0.000	円	0.000	円	0.000	円	0.000	円

令和4年度事務事業評価シート

事業番号	事業名
産業1-3-71	次世代就農者育成事業

PLAN(計画)⇒DO(実施)については総合計画進捗管理票にて記載

CHECK(評価)

No.1

自己評価	評価者	笠井 駿	5	大	←	小	1	↓
1. そもそも必要な事業か?								
町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A	評定理由					
緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	5		久山町の田園風景を維持するには、農業の担い手不足は喫緊の課題であるため、必要性は極めて高い。					
実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4							
町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5							
2. 町が実施する必要があるか?								
町が実施主体となることが法令等により定められている。	-	A	評定理由					
公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	5		久山町独自の事業を検討する必要があるため。					
民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5							
民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	5							
3. 実施内容は適切か?								
①有効性								
久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A	評定理由					
事業の手法・活動内容は適切である。	5		他町での実績が豊富な農業経営コンサルと委託契約を締結し、年度内に竣工した。					
事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	5							
②効率性								
事業費に見合った成果を上げている。	5	A	評定理由					
外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	5		他町での実績が豊富な農業経営コンサルと委託契約を締結し、若手農家のニーズを把握できた。					
実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4							
③公平性・透明性								
受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	5	A	評定理由					
事業費に占める一般財源の額は妥当である。	5		交流会を実施するにあたり、HPで募集するなど、積極的に情報を公開した。					
ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4							

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> B現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> C見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> D廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> その他

自己評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

豊かな田園風景を維持するにあたり、農家の高齢化等による担い手不足は久山町の喫緊の課題となっている。他町で実績の豊富な農業経営コンサルタントと委託契約を締結し、ヒアリングや交流会を実施したことで、ニーズや課題点を探ることができたことに加え、農家同士のコミュニティ形成も図ることができた。幅広く若手農業者の意見を徴収することが望ましいが、交流会の日程調整がうまくいかず、対象者全員の参加には至らなかったため、早期発注・早期案内を徹底することで、対象者全員の意見徴収を目指す必要がある。今後は、得られた意見や課題の解決のため、より具体的な施策を検討していきたい。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.2

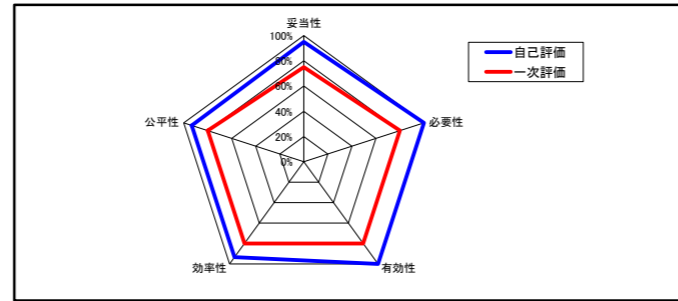
一次評価	評価者	阿部 桂介	5	大	←	小	1	↓
1. そもそも必要な事業か?								
町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B	評定理由					
緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3		今後の久山町農業を担う農家への意見交換の場を設ける事業であるため事業は必要と考える。					
実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3							
町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5							
2. 町が実施する必要があるか?								
町が実施主体となることが法令等により定められている。	-	B	評定理由					
公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4		自己評価のとおり。					
民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4							
民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4							
3. 実施内容は適切か?								
①有効性								
久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B	評定理由					
事業の手法・活動内容は適切である。	4		今後の久山町農業を担う農家への意見交換の場を設ける事業であるため事業内容は適切と考える。					
事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4							
②効率性								
事業費に見合った成果を上げている。	4	B	評定理由					
外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4		現予算内において効率的に事業遂行がなされていると考える。					
実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4							
③公平性・透明性								
受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	5	B	評定理由					
事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4		この事業に対する一般財源の額は特に問題ないと考える。					
ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3							

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> B現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> C見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> D廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

今回お集まりいただいた若手の農業者の方々は農業経営実績をお持ちの方々であり、農作物の販路もしっかりとしたものをお持ちであった。こちらの考えでは販路が構築できれば生産面積もさらに増やせるのではないかと思い農業経営コンサルタントの講演を中心に意見交換の場を設けたが講演内容については皆さん知っている情報が多いとの事であった。しかしながら若手農家の交流の場を設けてもらったことに対しては評価をいただいております。今後も内容を再度検討しながら事業を継続すべきと考える。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.3

二次評価	評価者	横山 正利
<input type="checkbox"/> A以下の点について、良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。		
<div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>		
<input checked="" type="checkbox"/> B計画どおり、現状のまま事業を継続する。		
本町の田園風景の維持に向けた就農者育成の取り組みであり、重要な事業である。今後も、農業者・行政とがそれぞれの立場で農家振興に向け、できることを模索しながら継続していく必要がある。		
<input type="checkbox"/> C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するための計画の見直しを行う。		
<div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>		
<input type="checkbox"/> D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。		
<div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>		
<input type="checkbox"/> E事業の目的を達成し、事業完了と判断する。		
<div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>		
<input type="checkbox"/> 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。		
<div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>		

外部評価委員会
で
評価する。
月 日
開催予定

一次評価をやり直し、
月 日
までに提出すること。

評価終了
外部評価へ

ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

外部評価	
今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの
<input checked="" type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了	<input checked="" type="checkbox"/> C見直しの具体的内容 実施方法の工夫 事業の効率化 受益者負担の適正化 事業縮小 その他
評価	C
	<p>外部評価委員の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業は非常に重要なものであるが、相談や紹介、あっせんのレベルに留まり、具体的な活動がなされていない印象がある。 ・農家については経営的な視点が必要となるため、農家を対象としたセミナー(支援制度、見学会、事業計画の作成や実地研修等)を行い、農家の収益性を上げる支援が必要ではないか。 ・若手就農の方が楽しくやりがいを持って農業をやられている様子を情報発信していく必要がある。農業をやられている方がいかにコミュニティを広げるかが担い手育成に繋がると考える。 ・広報が難しいのであれば、広報担当課と連携しながら本事業の情報発信手法を考えていく等の連携が必要である。 ・対象の2事業を組み合わせる可能性も検討してもらいたい。
経営者会議	
経営者評価	町長
今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了	<input checked="" type="checkbox"/> C見直しの具体的内容 実施方法の工夫 事業の効率化 受益者負担の適正化 事業縮小 その他
評価	C
	<p>経営者会議の評価</p> <p>現在、農業の担い手育成や新規就農者支援に繋げるため、農業者の収入安定化対策として、様々な新しい補助金制度を創設している。しかし、制度に関する情報発信が十分でないという現状は認識している。補助制度や支援制度を創設しても、それを実際に活用したい人に届かなければ意味がないと考えている。久山で農業をやりたいと考えた人が、迷わず受けられる支援までたどり着くための情報発信を行っていく必要がある。</p>
令和6年度予算要求事項(今後の取り組み)	
畜産業周辺の臭気対策・環境対策に併せて、有機農業の推進と農作物の町内消費の促進をはかるため、令和6年度からミネラル堆肥の実証実験を行っていく。これにより、畜産農家及び水稲・野菜農家の収入面で支障となり、担い手育成や新規就農者育成に繋げていけるよう進めて参りたい。また、このような補助制度や支援制度についての情報発信として、ホームページで農業者支援等に関するページを作成する。	